

熊本県鉱工業動向(平成28年7月分)

概況

	前月比の動き	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	上昇	低下	横ばい
出荷	上昇	低下	上昇
在庫	上昇	上昇	低下

業種別の主な動き

	主な上昇・低下業種(及び主な品目)	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	上昇 電子部品・デバイス工業(集積回路) はん用・生産用機械工業(特殊産業機械)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(CCD・その他)等)	輸送機械工業 (普通乗用車等)
	低下 化学工業(医薬品) 電気機械工業(※)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	化学工業(除. 医薬品) (クレンジングクリーム等)
出荷	上昇 電子部品・デバイス工業(集積回路) 食料品・たばこ工業(※)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(CCD・その他)等)	輸送機械工業 (普通乗用車等)
	低下 化学工業(医薬品) はん用・生産用機械工業(※)	はん用・生産用・業務用機械工業 (一般用蒸気タービン等)	金属製品工業 (橋りょう等)
在庫	上昇 食料品・たばこ工業(※) 金属製品工業(建築用金属製品)	輸送機械工業 (軽・小型乗用車等)	情報通信機械工業 (携帯電話等)
	低下 化学工業(※) ゴム製品工業(※)	電気・情報通信機械工業 (ファクシミリ等)	鉄鋼業 (フェロニッケル等)

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

総括 (指数値:平成22年=100)

[熊本県]

生産指数(季節調整済)は124.4で、前月比+2.6%となり、2ヶ月連続の上昇であった。16業種中10業種が上昇、6業種が低下であった。

出荷指数(季節調整済)は119.1で、前月比+1.8%となり、2ヶ月連続の上昇であった。16業種中9業種が上昇、7業種が低下であった。

在庫指数(季節調整済)は82.0で、前月比+3.0%となり、6ヶ月ぶりの上昇であった。15業種中8業種が上昇、6業種が低下、1業種が横ばいであった。

(参考)

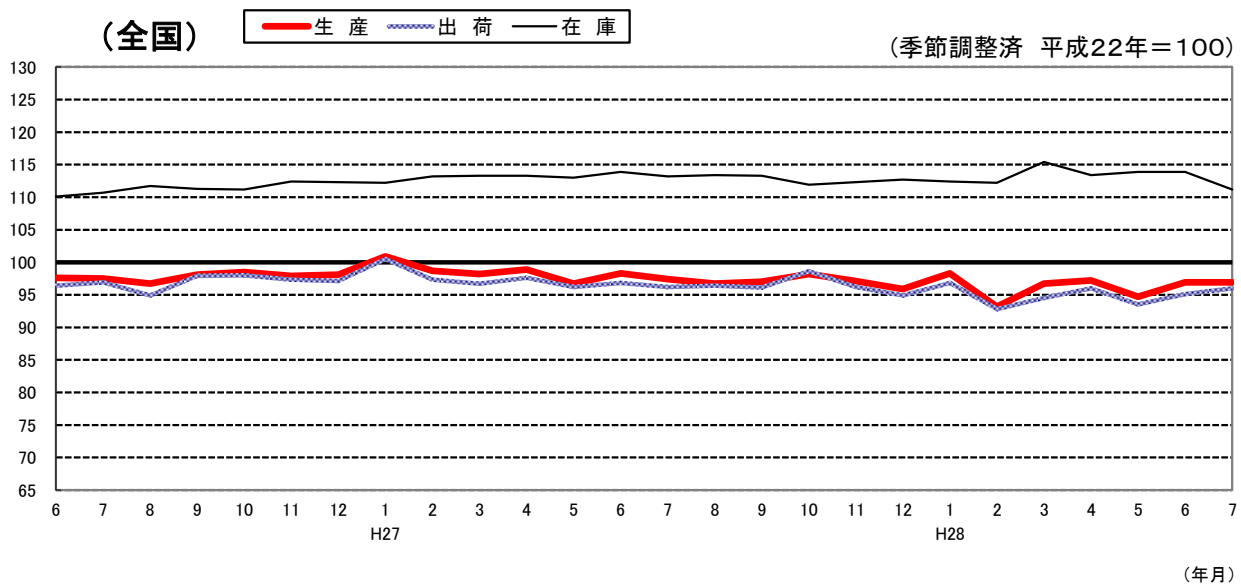
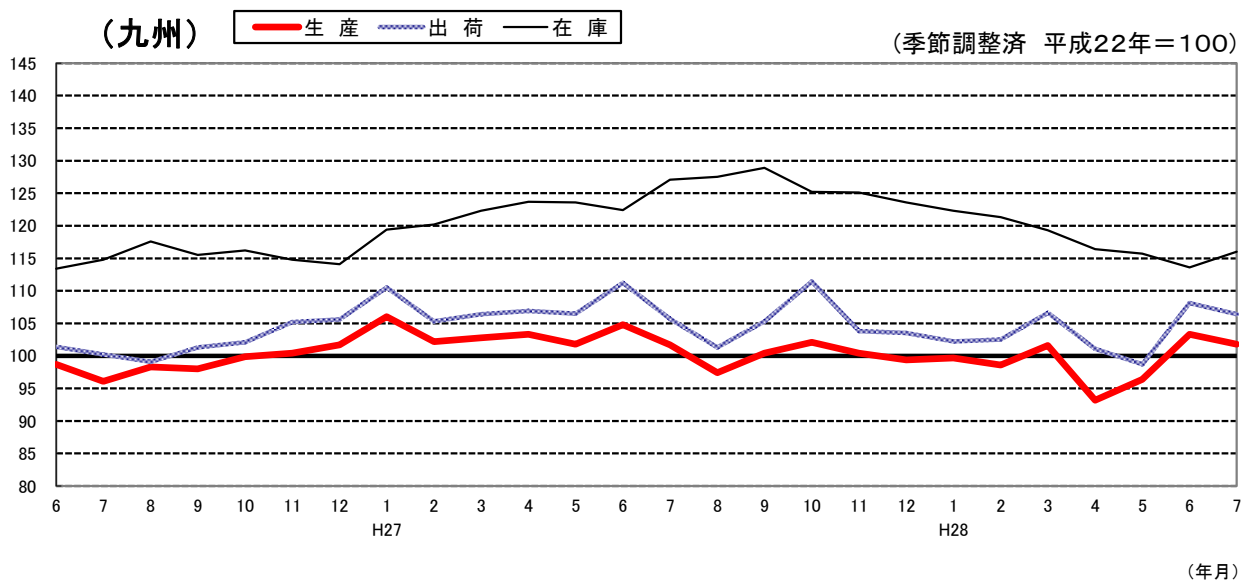
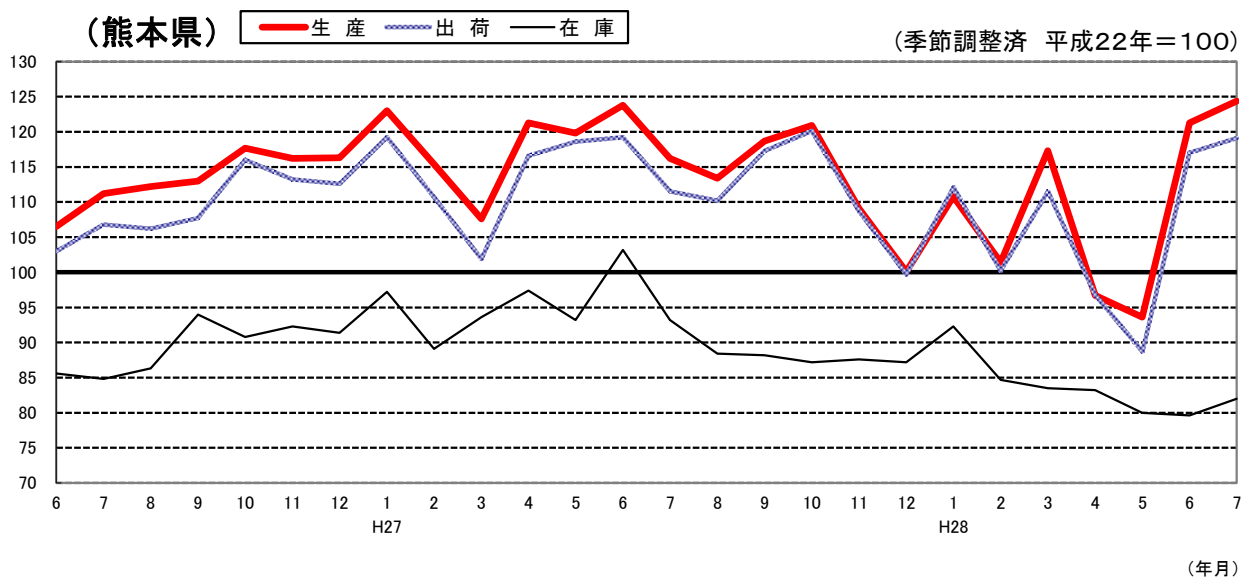
[経済産業省九州経済産業局]「九州地域の鉱工業動向(平成28年7月速報)」より転載

平成28年7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は101.8となり、前月比が▲1.5%と3か月ぶりに低下し、前年同月比は▲2.9%と4か月連続の低下となった。

[経済産業省]「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数速報(平成28年7月分)」より転載

今月は、生産は横ばい、出荷、在庫率は上昇、在庫は低下であった。製造工業生産予測調査によると、8月は上昇、9月は低下を予測している。総じてみれば、生産は一進一退で推移しているが、一部に持ち直しがみられる。

熊本県・九州・全国の鉱工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－生産、出荷、在庫とも上昇－

平成28年7月の鉱工業指数[速報値]

(平成22年=100)

		季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
熊本県	生産	124.4	2.6	121.8	2.1
	出荷	119.1	1.8	114.1	2.1
	在庫	82.0	3.0	77.3	▲ 12.1
九州	生産	101.8	▲ 1.5	106.3	▲ 2.9
	出荷	106.4	▲ 1.6	109.0	▲ 1.8
	在庫	116.0	2.1	117.4	▲ 8.7
全国	生産	96.9	0.0	99.1	▲ 3.8
	出荷	96.0	0.9	96.4	▲ 3.8
	在庫	111.2	▲ 2.4	113.7	▲ 1.8

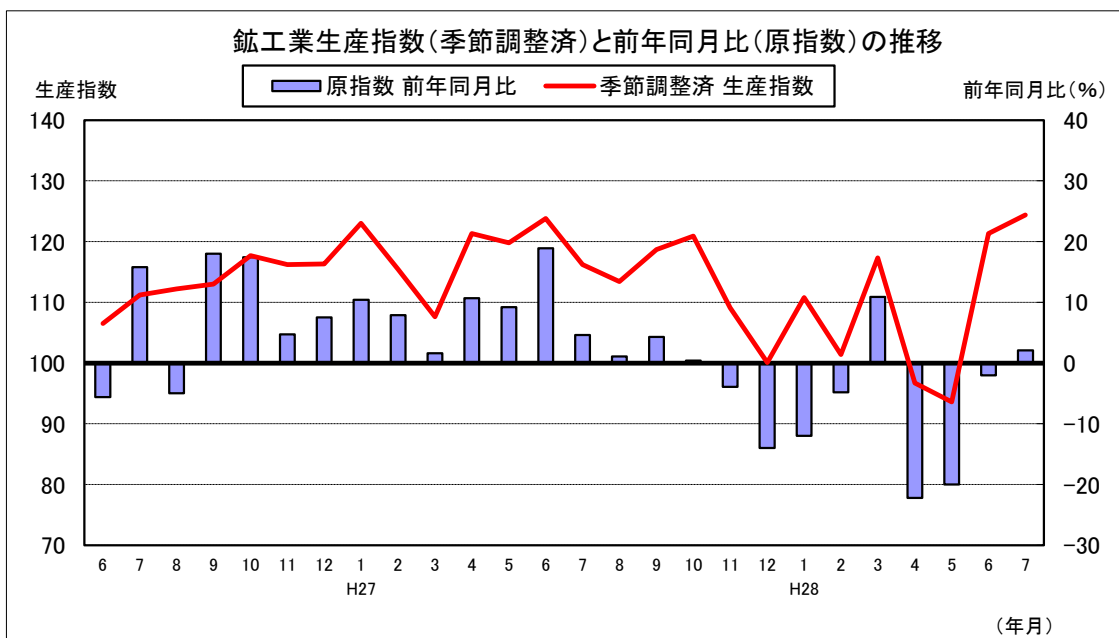
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷の季節調整法はX-12-ARIMA(季節、曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

【生産】 生産指数は 124.4 で、前月比 +2.6%となり、2ヶ月連続の上昇であった。16業種中、化学工業や電気機械工業などの6業種が低下したが、電子部品・デバイス工業やはん用・生産用機械工業などの10業種が上昇した。

【出荷】 出荷指数は 119.1 で、前月比 + 1.8%となり、2ヶ月連続の上昇であった。16業種中、化学工業やはん用・生産用機械工業などの7業種が低下したが、電子部品・デバイス工業や食料品・たばこ工業などの9業種が上昇した。

【在庫】 在庫指数は 82.0 で、前月比 +3.0%となり、6ヶ月ぶりの上昇であった。15業種中、化学工業やゴム製品工業などの6業種が低下したが、食料品・たばこ工業や金属製品工業などの8業種が上昇した。



2. 業種別動向

【生産】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	電子部品・デバイス工業	1823.9	11.2	30.2	集積回路
	はん用・生産用機械工業	1325.0	5.6	25.4	特殊産業機械
	窯業・土石製品工業	261.2	10.5	▲ 4.7	生コンクリート
低 下	化学工業	868.7	▲ 31.4	▲ 24.3	医薬品
	電気機械工業	804.7	▲ 17.0	▲ 46.9	※
	金属製品工業	426.2	▲ 7.6	▲ 10.0	建築用金属製品

【出荷】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	電子部品・デバイス工業	1737.9	6.7	32.3	集積回路
	食料品・たばこ工業	1667.7	13.7	▲ 23.4	※
	窯業・土石製品工業	249.3	12.2	▲ 4.2	生コンクリート
低 下	化学工業	846.8	▲ 29.9	▲ 24.3	医薬品
	はん用・生産用機械工業	1108.0	▲ 4.8	30.5	※
	電気機械工業	539.6	▲ 18.3	▲ 53.2	※

【在庫】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	食料品・たばこ工業	1733.1	11.4	28.3	※
	金属製品工業	672.4	15.6	▲ 8.5	建築用金属製品
	鉄鋼業	291.4	28.1	▲ 13.1	※
低 下	化学工業	1224.1	▲ 9.2	▲ 20.0	※
	ゴム製品工業	267.3	▲ 31.1	▲ 41.6	※
	輸送機械工業	386.8	▲ 7.6	▲ 11.3	—

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

3. 特殊分類別動向（財別の動き）

財 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
最終需要財	生 産	99.5	▲ 4.7	96.3	▲ 8.4
	出 荷	98.3	▲ 4.9	94.7	▲ 5.8
	在 庫	78.5	▲ 0.1	83.1	▲ 17.1
生 産 財	生 産	151.1	7.9	151.6	11.6
	出 荷	141.6	9.3	135.6	9.3
	在 庫	87.3	5.7	70.9	▲ 4.4

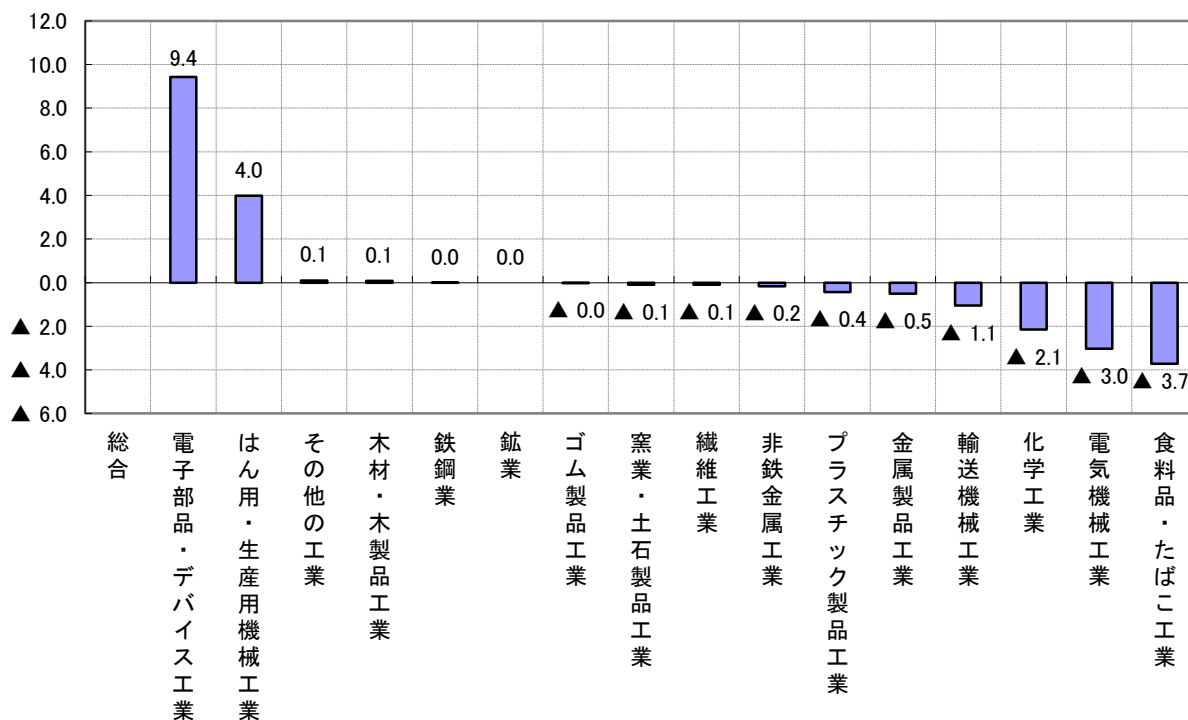
4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

類 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
金額指数	生 産	321.2	6.4	333.2	33.5
	出 荷	291.1	5.4	296.7	37.6
	在 庫	0.3	50.0	0.3	▲ 50.0

類 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
数量指数	生 産	454.2	2.6	486.0	14.9
	出 荷	406.8	4.1	426.2	15.5
	在 庫	34.8	15.2	35.8	▲ 46.1

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

5. 業種別寄与度（生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。